

NPO自立化支援ネットワーク・アウトドアクラブ

Inter Depending Network・Out doors Club

Takaokai

第133回 たかお会活動報告

【諏訪大社参拝と千畳敷カールハイキング・養命酒工場見学】

担当：総務幹事-東川・武田・渡辺

- 1、実施日 2019年7月25日(木)～26日(金) 天候 晴
- 2、参加者 20名 男性12名、女性8名
- 3、宿泊先 お宿なごみ野(安曇野穂高温泉郷)
(新宿西口出発から帰着まで2日間の行程のすべてをホテル送迎バスを利用)
- 4、コース
【25日】 8:30新宿出発→中央道 石川PA →ハケ岳PA(瀧村氏乗車) → 岡谷インター → 諏訪大社・下社春宮 → 昼食(山猫亭) → 諏訪大社・下社秋宮 → 諏訪大社・上社本宮 → 諏訪大社・上社・前宮 → 諏訪インター → 安曇野インター → 穂高温泉「お宿・なごみ野」(16:30着) 夕食・懇親会(18:30～20:30) 有志二次会(幹事部室22:00散会)
【26日】 7:15朝食 8:20 出発 → 安曇野インター → 駒ケ根インター → 菅の台バス停(登山バス) → しらびぞ平駅 → (0-プインター) → 千畳敷駅 千畳敷カール・散策(1.5時間) 千畳敷駅 (0-プインター) しらびぞ平駅 → 菅の台バス停 → (なごみ野バス) → 昼食(東右衛門) → 養命酒駒ケ根工場 → 駒ケ根インター → ハケ岳PA/瀧村氏下車 → 中央道八王子バス停(6名下車) → (首都高) → 新宿西口着(20:15 途中渋滞のため1時間程度延着)
- 5、記事
 - ・ 2日間とも天気は晴、梅雨明けにはなかったが諏訪大社の4宮、安曇野、2日目は登りのロープウエーは霧で視界がなかったが、千畳敷を歩き始めると急に霧が晴れ、半周する頃には駒ケ根の街が見渡せた。
 - ・ 諏訪大社は下社春宮と秋宮、上社本宮と前宮の四宮を参拝した。各宮の社殿は本殿の四方に御柱がある共通点はあるが、社殿の規模・様式・ご神体もそれぞれ異なるとのことであり、中でも上社本宮は境内も広く、本殿も荘重で全国の1万以上の諏訪神社の総本社といえる構成であった。
 - ・ 2日目の千畳敷カールは海拔2600mにある一周45分の周回コースのお花畑で、直前まで立ち込めた霧が晴れ、チングルマ、コバイケソウ、などが満開で見事でした。コースの一部は宝剣岳や木曽駒ヶ岳の登山道でもあり、下山中の地元中学生たちにパワーを貰った登りコースだった。
 - ・ 駒ケ根市内に戻り養命酒の工場を見学、標高800mの林間に環境に配慮した建物が並び、1日に4万7000本を製造するという瓶詰めラインなどを見学した。蔵造りの資料館併設販売所では養命酒のほか関連のハーブや味噌製品などの土産物も扱っている。「養命酒」は慶長7(1602)年、信州伊那の塩沢家当主・塩沢宗閑翁によって創製され現在に至る歴史の重みも感じた。
 - ・ 宿泊と2日間のバスを提供くださった「穂高温泉 お宿なごみ野」は3回目の利用であるが、自然林の中の建物、創作和食といえる手の込んだ食事、宿泊室のみならず館内各所の生け花など、変わらぬ行き届いたもてなしに和んだバスハイキングが楽しめたと思います。
 - ・ 参加者の皆様のご協力で、今年の最大行事133回を無事に終えられたことを感謝します。

2019年7月28日

報告書：武田